

発 行
福井県大野市役所
(総務課広報係)
電話(代)6-3600
夜 間 6-3601
印刷松浦印刷所



3月の人口の動き

出生	男 34	女 34	計 68
死亡	男 15	女 19	計 34
転入	男 50	女 40	計 90
転出	男 64	女 65	計 129
世帯数			9,914
人 口			44,211
男			21,250
女			22,961

豊かな町づくり 文化産業都市を建設

昭和43年度市政の大綱を決める 第104回定例市議会
は3月11日から23日までの13日間開かれ、昭和43年度
予算など12議案が慎重に審議されました。

寺島市長は定例市議会の冒頭において次の4つを重
点とする市政方針を明らかにし、豊かな町づくりにま
い進する決意を述べました。

1. 市財政の再建

昭和43年度は再建第2年次に当たりま
すので、特に市の行財政のありかたにつ
いて慎重な検討を加え、機構、組織の統
廃合と簡素合理化、事務の能率化を強く
推進します。

また、消費的、義務的な管理経費につ
いては節減を図り、投資的経費について
は市財政の長期的展望と財源確保の見通
しの上に計画的に着実に執行し、財政構
造の改善をはかりながら、健全財政を堅
持し、再建計画を予定以上に進めてゆく
所存であります。

2. 災害復旧事業の完遂

災害復旧については公共土木、農林関
係 1億2,822万円で、特に昭和40年災害
については最終年度となります。このた
め災害復旧については万全を期して復旧
の完遂を図る考えであります。

3. 国体の開催

本年は千載一遇の記念すべき第23回福
井国体開催の年であります。過去2年間
の施設整備と全国大会の開催を通じての
体験を生かし、運営について遺憾のない
よう実施を念願しています。

素朴なうちにも大野市にふさわしい清
新にして堅実な 国体とし、1人1役の市
民運動を強力に展開して、市民の理解と
協力を深め、親切と誠意を尽くして受け

入れ体制を整え、
国体成功への原動
力としたい考えで
あります。

また、この国体を契機として、市民の
公衆道徳の高揚と環境の美化につとめ、
住みよい郷土を実現するための素地を確
立したい考えであります。

4. 明るい豊かな 新しいまちづくり

具体的年次計画はただいま策定中の第
3次建設計画のなかに明示したいと存じ
ますが、この「まちづくりの推進」とそ
市政の再建とともに私の市政に対する最
重点施策であります。

教育の振興、社会福祉の増進、産業の
振興、道路および環境衛生などを中心と
する生活環境の整備、地域開発などを計
画的に順序立てて推進し、「個性ある文
化産業都市」の建設に向けて前進する所
存であります。

補正予算を可決

第104回定例市議会

第104回3月定例市議会において、昭
和42年度大野市一般会計補正予算案など
6議案が追加上提され、原案通り議決さ
れました。一般会計は歳入歳出をそれぞれ
6,086万円を減額し、累計総額13億8,
448万となりました。

歳出のうち、増額となった主なものは
財政調整積立金 3,700万円、北大野駅の
測溝工事費等100万円、除雪費480万円等
であります。



(市政方針を述べる寺島市長)

歴史を閉じる

中保分校と市営農場

下庄小学校中保分校は児童数の減少に
より、複式教育を実施せねばならない状
態になりました。このため、教育の向上
を図るため4月1日から下庄小学校に統
合することになりました。

また、大野市農場を廃止し、これまで
農場で行っていた、水稻、園芸、畜産
などの調査、研究、実験による指導はこ
んご農務課で実施することになりました

幼稚園の保育料 1,000円

このほど大野市幼稚園料、保育料徴収
条例の一部が改正され、保育料が1ヵ月
1,000円、入園料が1ヵ月1,200円にそれ
ぞれ4月1日から改正されました。

郷土の資料を展示

郷土歴史館を設置

市はこのほど大野市郷土歴史館建設委
員会から柳廻神社境内に建設された建物
の寄付を受け、大野市郷土歴史館として
郷土の歴史、産業、芸術などの資料を展
示して、一般の利用に供し、教養、研究
などに役立てることになりました。

緑の羽根募金にご協力下さい
3月20日～4月30日

明治100年市立緑化運動
国体協力緑化運動

一般会計
特別会計

総 額 15億620万円

昭和43年度予算決まる

昭和43年度の予算は一般会計11億9,667万円（前年度より2億4,294万円の増）特別会計3億953万円（前年度より6,246万円の増）です。一般会計、特別会計あわせると市の予算総額は15億620万円となり、前年度より3億1,540万円の増となっています。

多くなった原因は道路、保育所の整備農林商工業などの振興対策、学校教育の内容充実と施設の整備、災害復旧、国体運営、交通対策などに重点が振りむけられたためです。予算内訳は次のとおりです。（ ）は総予算に対する比率です。

歳入のあらまし

歳入については現段階において見込み得る財源を確実に見積りました。財源内訳は一般財源8億7,128万円、特定財源3億2,538万円となります。

△市 税 3億5,176万円 (29.4%)

市税の内訳は市民税1億868万円、固定資産税1億4,936万円、たばこ消費税4,500万円、電気ガス税2,956万円、軽自動車税998万円、その他915万円で前年度に比べ5,268万円増となっています。

市民ひとりあたりの市税は7,956円となります。（43.3.1 住民登録人口）

△地方交付税 1億9,600万円 (16.4%)

歳出のあらまし

歳出については再建計画の基本方針に従って予算編成にあたり、義務的経費については極力節減した結果9億8,604万円反面投資的経費は2億1,063万円を計上し地域の発展と住民の要請する行政水準の向上を図りました。

△議会費 1,850万円 (1.5%)

△総務費 1億1,271万円 (9.4%)

総務費は前年度より622万円多くなっています。おもなものは光熱水費、例規集の印刷、電算センター委託とこれに伴う印刷、参議院議員選挙、交通対策費です。

△民生費 1億95万円 (8.4%)

おもなものは身体障害者、精神薄弱者老人、児童福祉費、生活保護費などです。ことしは前年度より2,156万円の増ですがこれは措置基準が引きあげられたことと春日保育所の敷地購入、荒島保育所の改築によるものです。

これは国から交付されるもので前年度より1,262万円多く見込まれています。

△分担金及び負担金 630万円 (0.5%)
用排水路、農道の新設改良、災害復旧費の分担金です。

△使用料及び手数料

2,436万円 (2.0%)

市民会館、保育所、幼稚園、市営住宅の使用料、戸籍等の諸証明、予防注射などの手数料です。

△国庫支出金 1億5,604万円 (13.0%)

この内訳は社会福祉、災害復旧の負担金として1億1,558万円。減税補てん償元利補給金、向島線工事費、七間線舗装などの補助金に3,743万円。その他の委託金として302万円です。

△県支出金 8,058万円 (6.7%)

これは災害復旧費、児童福祉費、農林業費、参議院議員選挙費がおもです。

△財産収入 64万円 (0.1%)

△寄付金 237万円 (0.2%)

△諸収入 3億4,798万円 (29.1%)

これは印紙売りさばき手数料の外線上充用引当金3億800万円がおもなものです
△市債 3,060万円 (2.6%)

市民税減税補てん償、災害復旧債、農林債がおもです。

△衛生費 5,764万円 (4.8%)

これは大野保健所の建設資金2,000万円市民の健康管理に必要な予防対策費に530万円。簡易水道、食肉処理場特別会計への繰り出しに380万円。町を美しくする費用として1,700万円があてられております。

△労働費 497万円 (0.4%)

△農林業費 5,968万円 (5.0%)

豊かな米づくり、桑園造成事業および近代化資金貸付などに1,465万円。土地改良事業および農地基盤整備事業などの804万円です。

林業については市有林造林事業に624万円。おうれん、民有林造林事業補助に190万円が計上されています。

△商工費 1,114万円 (0.9%)

おもなものは工場誘致奨励金41万円。商工会館建設補助30万円。商店設備近代化貸付金、共同事業、商工業近代化貸付金および利子補給など商工振興費に607

家庭の日……4月21日

4月のテーマ

みんなで美しい

花を咲かせよう。

万円です。

△土木費 7,262万円 (6.1%)

土木費は前年度より222万円の増です。おもなものは道路の維持修繕に1,165万円。道路の改良と舗装事業に1,855万円。橋と川の維持費に337万円。街路事業に1,857万円。越前大野城諸費に110万円が計上されています。

△消防費 2,982万円 (2.5%)

これは小型動力ポンプ2台、消防用ホースの購入費、打ち込み式防火水槽などの施設費などです。

△教育費 1億1,993万円 (10.0%)

教育費は前年度より513万円多くなっています。幼稚園、学校の教材費に650万円。学校施設の維持修繕に585万円。尚徳中学校の通学用スクールバス購入費300余万円。それに明治100年記念事業として「大野のあゆみ」の印刷費140万円がおもです。

社会教育関係は人づくりの基礎となる家庭学級、青年学級、その他社会教育に2,357万円。保健体育費は618万円です。

△災害復旧費 1億2,822万円 (10.8%)

災害復旧費の内訳は農林施設災害復旧費6,741万円。公共土木災害復旧費6,081万円です。

ことしは40年災害については第4年次に当たりますので全力を傾注して完成にまい進します。

△公債費 1億3,622万円 (11.4%)

これは償還計画にもとずいて支払われる元金6,917万円。利子4,238万円および一時借入金利子の2,465万円です。

ことしは起債を抑制するとともに一時借入金の運用についても特に留意し、極力利子の節減をはかるよう努力します。

△国体費 1,321万円 (1.1%)

これは会場施設の整備と演技、接伴、輸送、宿泊、警備通信、市民運動、選手強化などの経費です。

△予備費 200万円 (0.2%)

△繰上充用金 3億2,900万円 (27.5%)

昭和42年度の決算で歳入不足となる見込の金額を、昭和43年度の予算で繰上補充しようとする予定の金額です。本年度では、赤字額2,100万円を減らす計画になっています。



自動車延 200台を動員

国体開催輸送計画決まる

第23回福井国体はあと6カ月とせまりましたが、大野市実行委員会では選手、役員、輸送計画をこのほど決めました。

それによると、大会に要する自動車は延 200台となっています。内訳はジープ16台乗用車53台ワゴン23台マイクロバス50台大型バス50台トラック8台です。

競技種目別に見ると、相撲競技では乗用車など59台、ソフトボール競技では乗用車など50台、山岳競技ではトラックなど26台となっています。

また、大会を前に選手役員の歓迎に延29台、開会式の選手、役員などの輸送に大型バス37台となっており、大会運営の輸送に万全を期します。

一般観覧者の輸送には、各定期バスの会場へのう回を運輸機関と交渉中です。

会場（市役所大会議室）で行なわれ、七間商店街協同組合ら16団体と個人4名が表彰されました。

受賞者は次のとおりです。

◎最優秀賞 七間商店街協同組合。

◎優良賞 下庄中学校、有終中学校。

◎技術賞 大野高等学校、大野工業高校

◎奨励賞 大門婦人会、坂戸婦人会、八代グループ、笹の葉グループ

◎努力賞 阪谷小学校、蕨生小学校、上庄小学校、深井子ども会、上荒井子ども会、勝原婦人会、花房婦人会、松田芳栄（千歳）、松田清子（上野）、瀬先きみえ（唯野）、前田正二（中荒井）

国体装飾用品をあっせん

大野市国体実行委員会

大野市国体実行委員会では国体装飾および関係用品をあっせんしています。

ご希望の方は4月15日まで代金を添えて各区長宅までお申し込みください。

品名と代金は次のとおりです。



（最優秀賞の七間商店街協同組合）

◎三色旗 200円（国旗、国体旗、市旗の3本小旗の1組取付金具付）

◎紅白幕 950円 5.5m用

1,600円 9.0m用

（さらし天竺染分き 幅 75cm）

◎自動車用二色旗 380円（国旗、国体旗の2本旗の1組）

◎ポリ製ごみ容器 650円=40ℓ

800円=45ℓ

（取扱いに簡便なごみ容器）

◎ナイロンごみ袋 80円（衛生的で収集作業能率を高めるポリ袋 20枚1袋）

◎フラワーボックス 約 600円（木製）約 1,500円（ホーム花壇ポリ製）

最優秀賞は七間商店街

花だんコンクール

花だんコンクールの表彰式がさる3月1日福井国体県民運動推進員奥越地区大

北大野駅が新設

3月25日から 営業を開始

下庄地区民の念願であった北大野駅は3月25日から営業を開始しました。

同駅は市道下鹿線ぞい西側（下中野地籍）に新設されたものでホームの長さは92mの無人駅です。

この日、大野市長、近鉄局長によって紅白のテープが切れ、ここに地区民が年の望みが実現しました。



（テープを切る寺島市長）

篠座神社（篠座）



神社の創始は養老元年（717）といわれ

おこなわたのみこと大己貴命をまつる、延

喜式神名帳に記された古い神社であります。

数百mにおよぶ参道や広い境内には、老樹がうっそうと茂り、幽すい清そな別天地です。御手洗池から

わき出る霊泉は、「篠座神社の御神水」として眼病に靈験あらたかといわれています。



戦国時代の兵乱で一時おとろえましたが、寛永元年（1624）松平直政が社殿を再建し、土井侯歴代も崇敬し、慶応2年（1866）現在の社殿が建立されました。

境内には吉田拙蔵（大野丸船長）横田 秀（教育家）、及び函館戦争戦死者の碑などがあります。

昔から人々の尊崇があつて、桜の花の咲き乱れる4月21日の春祭りは、神域が人と店でうずまるほどのにぎわいをみせます。

（写真は篠座神社の霊泉）

ごみ箱

娘よ、息子よ、私は、あなた達にとって

お母さんというごみ箱でありたい。

悲しいこと、つらいこと

うれしいことは、いつでもこのごみ箱に

吐き出しておくれ。

あなた達は、

未来の世代になう

大事な人間なんだよ。

だから、これからも、

いのちを大切に、

他人に迷惑をかけないで

社会のために、

自分自身のために、

立派になっておくれ。

人間が一生かかって

あるためには、特に

ある時期には、特に

ごみ箱を必要とするものだ。

私は、たとえ踏まれても

簡単にはつぶれない、

あなたたちにとって

世界一強いごみ箱になりたくて、

いつも 願っている。

木本家庭教育学級生
主婦(32)

交通の安全を図る

人口なだれ実施

人工なだれを起して交通の安全を図ろうと、大野土木出張所では 3 月 15 日、宝仙山（葛ヶ原）で実験を行ないました。

この地点は標高 550m、傾斜 39 度で、当日は気温 温度とも好適であり、積雪は 3m もありましたが、発破器のスイッチが入れると、タテ 40m、ヨコ 30m にわたって、すさまじい雪煙りをあげながら 150m をすべり落ち、茶褐色の荒けずりの地へだが見れ、みごとに成功をお



(雪煙をあげておちる人口なだれ＝矢印)

納めましたか

国民年金保険料を

保険料をおさめるときは、国民年金手帖に、国民年金印紙をはり、それに市の検認をするのですが、印紙で保険料をおさめられるのは、その年度分を 4 月末日までに納める場合に限られています。

昭和 42 年度分は、ことし 4 月いっぱいです。おくとれると現金で直接社会保険事

務所に払い込むので、手続きがめんどろですし、いざ年金を受けようとするときや死亡したときに、納めた期間がたらないため、年金が受けられなくなったり、受ける年金が少なくなったりします。

保険料の納入状況は年々よくなっていますが、まだ一部納めずれの方もありますが、必ず 4 月中に納めましょう。

4 月は、新入学(園、所)の時期でこどもの生活環境がかわり、行楽シーズンの幕明け、土木工事の再開などでこどもの交通事故が多発しています。

このため 4 月いっぱい「こどもを交

通事故か

ら守る県

市民運動

が」行なわれます。次の点を守り事故をなくしましょう。

1、家庭におけるしつけ

① 家庭で交通安全についての話し合いをする。

② 道路の正しい歩行について、具体的に行動で教える。

③ 学校などへ送り出すときは、「しからない」「忘れものをさせない」「おくらさない」ようにする。

2、おと

なの自覚

① ひと

の子ども 自分の子と同じように交通ルールを守っていなかったら、愛の注意を与える。

② おとなはこどもの模範になるよう交通ルールを知って必ず実行する。

こどもも 目と手を放すな路上では

生活態度への反省を

＝春の青少年を守る運動＝

長かった雪との生活が解放されて、県内では、春の青少年を守る運動が一斉に進められています。今年の運動の目標は「明るい笑顔で事故もなく」をモットーに健全な家庭づくりと余暇の活用

青少年の非行と事故の防止

の二点が、中心になっています。

この時期は、進学、進級、就職など少年たちの生活に一つの区切りがつかますので、これまでの家庭を中心とした、生活態度について、反省し、その上で

○家族みんなで話し合うこと

○家族みんなでレクリエーションを考えること。

○少年自身が、計画をたてて、余暇を有効に利用すること

などを実行することにしたものです。

商工会議所 常議員決まる

このほど、大野商工会議所常議員総会が大野商工会議所で開かれ、常議員 23 名を決めました。

常議員は次のとおりです。

◎会 頭 松田確太郎

◎副 会 頭 黒原義雄、道関文

◎常 議 員 千味乙松、四方土也、土田信平、黒瀬久、原梅之助、原田豊、島田正、塗茂光夫、土本嘉伝、服部寿市、大橋清紀、野村重三、竹下豊志、麻地忠義、山津四郎、四方軍平、広瀬寿三

◎監 事 赤尾惣兵衛、前田正四、山本忠次郎

あ ほ な こ っ ち ゃ

春

「ずいぶん寒いめに
あいました」ーヒザコゾウ
ミニスカート殿

ア ホ ナ コ ッ チ ャ



昭和二十二年から毎年四月十日を「バードデー」ときめて春の行事のさわやかなスタート

間を冷たさからしっかりと温め守りたい

の数が二千八百八十四億三千二百五十万匹になる。日本中で毎年ツバメがたべる昆虫

を切っている。アメリカではもともと以前から小学校の先生と農務省とで計画し、この日を設けている。とりわけオージューボン協会という鳥の保護会の活動は目ざましい。オージューボンというの人は人の名前以前に鳥の偉い鳥の学者で、たいそう尊敬されて